

DOSHISHA

Tokyo Journal 同志社東京ジャーナル

2023
Spring
No.131



同志社東京校友会 INDEX

表紙写真：今出川キャンパスの桜（栄光館）

- ・新島襄生誕の地碑前祭（神田）
碑前祭、初春縁日広場、午餐会
- ・新島襄終焉の地碑前祭（大磯）
- ・ビジネスパーソン・イベント 名刺交換会
- ・第39回 東京新島講座
- ・創立150周年 ALL DOSHISHA 募金
- ・東京校友会 改革プロジェクト
- ・関係諸団体の活動 2022年レポート
- ・片桐家同志社五代記（四十四）
- ・連載コラム 今出川・京田辺四季
- ・登録団体活動レポート・政法会 東京支部
- ・同志社スポーツ・フィギュアスケート部
- ・「2023 同志社東京 初夏の集い」最新情報
- ・定時総会・評議員会・幹事会のご案内

3年ぶりに開催 新島襄生誕の地碑前祭

初春縁日広場や午餐会も復活 



碑前に献花

■神田・学士会館に集う同志社人と町内会の人々
.....
東京校友会年初恒例のイベント「新島襄生誕の地碑前祭」が三年ぶりに行われました。またコロナ禍の収束宣言もない中でしたので、規模を絞っての開催でした。

第一部 生誕の地碑前祭

今年には校祖新島襄先生が安中藩江戸上屋敷で誕生して180年目に当たります。その生誕を祝う碑前祭が、三年ぶりに学校法人同志社の主催で2月12日10時45分から行われました。

また今回は、新型コロナウイルスの蔓延から四年目を迎え、収束宣言も出ていないとあって、規模を縮小しての開催となりました。それでも、主催の学校法人同志社関係者、来賓、校友が60余名集いました。

参加者は受付で芳名カー

ドを記入し、その際使用したDoshishaの名前入りのボールペンと新島襄先生の大好物だった「ぜんざい」がプレゼントされました。今年には良い天気にも恵まれたとはいえまだまだ寒い中、式辞や挨拶、献花をされる方々はコートを脱いで参加されました。

式典は学校法人同志社の柳井望法人事務部長の司会で始まりましたが、コロナ禍でもあり残念ながら讚美歌312番は一同黙想でした。

そうした中、ちょうど三年前に就任された植木朝子学長が今年には初春に相応しいピンクの和服で参列され、式辞を述べられました。

続いて、東京校友会横山徹会長、地域代表として神田錦町三丁目前田智彦町会長から次のようなご挨拶がありました。

「この碑は、新島襄生誕100年を記念して1941年（昭和16年）9月27日に建立されました。ところが除幕式の当日、碑を運ぶために用意したトラック

神田錦町三丁目生まれ
同志社創立者新島襄
生誕一八〇年記念

初春縁日広場

2023年2月12日(日)

会場 学士会館210号室(千代田区神田錦町3-28)

開催時間 初春縁日広場(入場無料) 午前11時20分～午後0時50分
ゴルフ/玉入れ/魚釣り/こま回し 女子部大発表!
すごろく/じゃん玉/カルタ/将棋

主催 東京校友会/同志社同志会東京支部
後援 千代田区/千代田区観光協会/錦町三丁目会/ (株) 学士会館同窓会

新聞朝刊の折込広告として配布されたチラシ



が動かず、この町の小学生達が
大八車を押して青山の石材店ま
で取りに行きました」
お話を伺って、新島襄先生と
町内との繋がりの深さに感銘を
受けました。その後、参加者一
同で同志社カレッジソングを黙
想し、挨拶をされた三名の方々
による献花にて式典終了。

第二部 初春縁日広場

五年前の生誕の地碑前祭では、
振替休日ということもあり、東
京校友会と地域の方々や子供達
との一層の交流を図ろうという
ことで、江戸時代の縁日を再現
した「初春縁日広場」を開催し
ました。そして、今年も日曜日
だったこともあり、「初春縁日広

場」の再開催を
決定。会場を学
士会館の210
号室に移して、
11時20分から稲垣雅子副代表幹
事の司会で「初春縁日広場」が
スタート。

今年も、ゴルフ、玉入れ、魚
釣り、コマ回し、すごろく、け
ん玉、カルタなど、用意された
それぞれのコーナーで腕を競う
参加者達の楽しそうな顔が見ら
れました。達成するともらえる
駄菓子などのお土産をいっぱい
抱えた子供達の歓声があちこち
で聞こえました。

また川柳を作って缶入り「同
志社クッキー」をGetしよう!
という呼びかけに応じて、頭を



初春縁日広場の魚釣りに大人も子供も熱中！

ひねっている多くのの方々の姿が見られました。
皆さんから寄せられた川柳を
常任幹事の谷村鯛夢さん（俳人
協会会員でもある俳人）が選を
して、優秀作品
7句が披露
されました。
その中から
2つをご紹介します。
小学3年生の半田蔵治郎さん
**どうししゃへ いつかいきたい
めざしたい**
一般の部の、よりとめひろきさん
学長に 会えて嬉しや 碑前祭
参加された皆さんの嬉しそうな
顔、顔、顔、あつという間に
終了の時を迎えました。



「縁日」の最後は前田町内会

長の音頭で締めくくり。全員で
神田一本締め（練習をした後、
威勢良く一本締めが決まり、お
開きになりました。）
第三部 午餐会
楽しく過ごした「初春縁日広
場」の後は、毎年恒例の午餐会で、
会場を学生会館の202号室に
移動し、13時から開催。ただ今
年はコロナ禍もあり、テーブル
はアクリル板で個々の席が仕切
られ、食事コース料理から洋
食弁当になりましたが、三年ぶ
りの会食とあつて皆様ウキウキ。
冒頭の式次第は青木
重之代表幹事の司会
で始まりました。
主催者挨拶は、東
京校友会横山会長か
ら、続いて同志社大
学の植木学長からい
ただきました。
また来賓のご挨拶
は、錦町三丁目前田
町会長から、乾杯は
同志社校友会中村裕
一副会長からいつも
の英語でのご発声か
あり、賑やかに昼食
と懇談がはじまりま
した。



午餐会には60名が参加してなごやかに

懇親会もたけなわ、青木代表
幹事から、来賓の方々の紹介が
あり、続いて「2023同志社
東京初夏の集い」の説明があり
ました。コロナ禍で2020年
から開催できなかった「初夏の
集い」を6月4日（日）に品川
プリンスホテル アネックス5
階 プリンスホールで同志社大
学植木学長を迎えて開催するの
で、ぜひ皆様にお集まりいただ
きたいと要請があり、参加者一
同再会を約束してお開きになり
ました。
文責／片桐陽（67年・工）

■大磯町にて肅々と「新島襄終焉の地」碑前祭
同志社創立者新島襄先生
の永眠の日である1月23日
（月）に、神奈川県大磯町の
新島襄先生終焉之地碑庭園
において、碑前祭が3年ぶ
りに開催されました。

当日は寒波が到来し、寒さが
厳しい天候でした。

昨年、一昨年は新型コロナウイ
ルス感染症の影響により開催を
中止しましたが、今年は主催お
よび後援団体の関係者のみに参
加を限定し、約30名が集い新島
襄先生の遺徳を偲びました。

新島襄先生は、1890年1
月23日に46歳11ヶ月で大磯町の
旅館「百足屋」にて永眠されま
した。臨終の日には八重夫人、
小崎弘道、徳富蘇峰らの方々が
立ち会われたとのことです。

終焉之地碑は、1940年、
新島襄先生50回忌にこの地に建
立されました。

碑前祭では永眠時刻14時20分
に黙祷を捧げた後、一同で讚美
歌を黙想しました。その後八田
英二学校法人同志社総長・理事
長から式辞が述べられ、続いて、

池田東一郎大磯町長ならびに卒
業生を代表して横山徹同志社東
京校友会長からご挨拶がありま
した。

最後に参加者を代表して、八
田総長・理事長、池田大磯町長、
横山東京校友会長、平川功同志
社校友会神奈川支部長、吉井
啓子同志社同窓会東京支部長が
献花を行い、司会の柳井望学校
法人同志社法人事務部長から大
磯町役場の方々、同志社校友会、
同志社同窓会や地域の皆様への
感謝の意が述べられ、碑前祭を
終えました。

文責／菊池論（75年・法）



池田大磯町長のご挨拶

再スタートの第一歩「名刺交換会」

3月17日(金)東京サテライト・キャンパスでビジネスパーソンのイベントを実施しました。3年ぶりの開催です。



名刺交換の前に行われた自己紹介

東京校友会では、以前よりビジネスパーソンの交流イベントを行なっていました。この会が、卒業後東京勤務となった新米校友から30代・40代にとっても楽しい、再び参加したい会でありたい、という思いからです。ようやくコロナ禍も落ち着き、東京サテライト・キャンパスが利用可能になったことも再開のきっかけになりました。

ビジネスパーソンのイベントは新規会員の確保が目的の一つではありますが、実施にあたり以下をインナールールにしました。その場では会員加入を迫らない、存在価値を知らない人にもまず体験してもらおう。そして、小さくても連続して企画を提供する、というものです。

会員でない方にアプローチ

現在、東京校友会の会員で50歳以下はわずか142名。この方々に、まずメールで開催をお知らせしましたが、申込みは142名のうち3名でした。これでは開催できないということで、事務局保有の会員でない方へのメールやHP・Facebookへの告知記事掲載で、申し込み者は21名になりました。(当日の実際の参加は14名)。案内可能な名簿は大学と校友会の保有ですので、その活用も今後の課題かと思えます。さて、当日は、参加費無料、懇親会なし、開催時間はわずか70分で実施。一人ひとりの自己紹介タイムをつくることで、参

加者全員がお互いに名刺交換できました。



初対面でも話が弾む

多様な期待に応えたい

校友同士ですでにコミュニケーションを作っている方は「○○会で活動しています」とアピール。また、「ここでの出会いから仕事をご紹介いただきましたし、それだけではなくいつもフレンドリーに声をかけてもらえる温かい存在です」といった、校友会の先輩コメントもありました。初参加の方からは、緊張しつつも誰からとなく声がかかるので、「皆さんに会ってすぐ馴染めた」と嬉しいコメントをいただきました。

東京校友会は、会員(会費納

入者)の年齢構成がシニアに偏っており、ビジネスパーソンにとっても存在価値のあるものにしていく必要に迫られています。

東京校友会は2022年秋から常任幹事間で、問題意識を共有しいイベント実施に必要な仕組みづくりに取り組んでいます。今回はこれと平行し、やれるイベントはまず実施、となりました。

卒業生で校友会

に参加していない方が「校友会」に何を期待するのか、どんなことなら参加してみようと思われるのか、答えは探し続けるしかありません。2023年は、「多様性」をキーワードに多種多様なイベントを行いながら、人気や参加のしやすさを探ろうとしています。年間計画にはまだ至っていませんが、次回は5月の「ワインの会」です。(詳細はHPで)土曜日の午後の開催で、ワインのレクチャーと、飲



参加者全員がお互いに名刺交換

み放題・食べ放題のプランです。会場のお店は東京校友会登録団体の料飲同志社に紹介いただき、そのことによって格別のプランができました。

校友会はまだまだ認知度が低く、3年のプランクもマイナス要因であります。数万人の卒業生に喜ばれる存在になれるよう、多様な嗜好、価値観のどこかに刺さるプランを探し実行していきたいと考えています。

文責/安永昌代(81年・経)

第39回
東京新島講座
 2023年3月5日@両国
 講師 植木朝子(同志社大学学長)
 細井創(同志社女子大学特別任用教授)



細井 創教授



植木朝子学長

その日は、東京マラソン開催日。道路の盛況もそこそこに、地下鉄両国駅をあげたところにある会場にて、静謐な春の日、八田英二総長・理事長の開講の辞に始まる学校法人同志社主催、東京新島講座が開催されました。

1 講目、植木朝子学長が著名な国文学者でもあることは佐藤優さんの記事などでもうかがいました。

2 講目は、細井創教授。山本覚馬(「八重の桜」の主人公、新島八重の兄で、同志社創設にも深く関わった人物)が、教授前任の京都府立医科大学設立にも尽力されていたという歴史について触れられ、その両学に携われたことへの感謝の念を披露されました。教授が頭を垂れ、自らと学問のご縁をお話いただきましたその姿勢に聴講者一同感じ入りました。

3 講目は、細井創教授。山本覚馬(「八重の桜」の主人公、新島八重の兄で、同志社創設にも深く関わった人物)が、教授前任の京都府立医科大学設立にも尽力されていたという歴史について触れられ、その両学に携われたことへの感謝の念を披露されました。教授が頭を垂れ、自らと学問のご縁をお話いただきましたその姿勢に聴講者一同感じ入りました。

また教授がご尽力されてきた子どもの障がい者への信念を、「コリントの信徒への手紙 11-2 章14-16節」との繋がりでお話いただきました。同志社キリスト教の良心にも繋がる教授の深い

ご献身を拝聴し、聴講者一同、身の引き締まる思いがしたのではないでしょうか。講義終了後は両先生と希望者による記念撮影もお願いすることができ、素晴らしい一日となりました。

このような特別な「東京新島講座」、ぜひ次回以降もさらに多数の首都圏の同志社OB・OGが参集されることを願います。



講師の話をも熱心に聞く受講者の皆さん

第39回「東京新島講座」
 植木朝子(同志社大学学長)
 「中世の歌姫たち」白拍子を中心に」
 細井創(同志社女子大学特別任用教授)
 「チルドレン&ウイメン・ファースト」50年後を見据えて」
 後援 同志社東京校友会
 同志社同窓会東京支部

文責／寺石明人(90年・文)
 写真／仁藤正平(78年・商)



個人(校友のみ)からの寄付金額推移(資料出所:同志社大学募金課)

ご支援ください! 創立150周年 ALL DOSHISHA募金

創立150周年の2025年に向けて、「同志社大学2025 ALL DOSHISHA募金」もラストスパート!

東京校友会の皆様には「同志社大学2025 ALL DOSHISHA募金」に多大な

ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2017年10月に始まったこの募金も、創立150周年の2025年度まであと3年を残すのみになりました。

途中コロナ禍による影響を受けて、22年末の目標達成率は、28.36%、卒業生の募金者は6000名、14.2億円の寄付総額に留まっております。

大学では、何とか卒業生寄付者のすそ野を広げるべく、毎年6月に卒業生18万人にご案内を出しており、早期に目標1万人を目指しております。

この募金は、「同志社大学ビジョン2025」を実現していく財政的基盤となるもので、困窮学生への奨学金を始め、幅広く使途を指定できる募金です。

東京校友会の皆様には、卒業生のご友人へのお声かけなど、一層のご支援をお願いいたします。

文責／青木重之(78年・経)

◆吉岡哲郎常任幹事、大いに語る！

着々と東京校友会 「改革」プロジェクト

コロナ禍でイベント活動が実施出来ない状況だからこそ、これまでの活動を見直し、課題を整理、改善し、新しい同志社東京校友会の未来に向けた活動を一歩ずつ築いていこう。

現状についての見解

2020年からの3年間、新型コロナウイルスの影響で東京校友会の殆どのイベントが実施出来ず、そのことが新会員獲得に大きな影響を与えました。ただ、現在の東京校友会構成年齢は65歳以上のシニア層が大半で、近年の活動は、この層に向けたイベントに注力して来たことは否めません。

現在、同志社卒業生の多くの方々が関東圏で居住、勤務されています。しかし、残念ながらそれが東京校友会の会員数に反映されているとはいえません。現況に即した会員増への取り組みは、東京校友会にとって大きな課題であります。本来東京校友会は、その設立趣旨である「関東圏に居住、勤

そうした貴重なご意見を参考に、今年から現役世代向けの活動を展開していきます。

新「東京校友会会員管理システム」の導入について

まず、「東京校友会と会員一人一人の皆様との繋がり」を狙いとした「新会員管理システム」を今春より導入します。

これまで会員の皆様への情報提供は、ホームページ、フェイスブックもありましたが、大半が郵便物のご案内であり、即時性やイベントの出欠・会費の支払い等の利便性にも欠き、事務局作業も煩雑となり、イベント開催の頻度などに充分に対応することができませんでした。

そこで、「新会員管理システム」を導入して、タイムリーな情報発信と事務局作業の大幅な効率改善を図ります。これにより従来のイベントに加え、現役世代対応の多種多様なニーズに即したイベントの提供が可能となります。そして、その第一歩として、まず、若年層、現役世代の会員、未会員卒業生の方に、東京校友会活動へのご意見や期待する声を率直にお聞きすることにしました。

・関東圏の財界OB・OGとの集い

・スタートアップOB・OGとの集い

・各種「土」(サムライ)の会の集い

・趣味、趣向(例えばワイン)などの会の集い

・校友会傘下サークルからのご案内(定期演奏会、体育会の後輩の試合応援など)

・学校法人、大学からの情報提供

・東京校友会以外の関東地区同窓会組織(樹徳会など)とのコラボレーション情報の提供など、関東圏での同志社に関わる各種情報を出来るだけ早く、多くの皆様に発信し、関心があるイベントへの参加をアピールします。そうして、少しずつでも校友の輪が広がればと思っております。

近々「新会員管理システムへのご登録のお願い」を皆様に送らせていただきますので、ご

登録をお願いします。

今後の東京校友会活動に向けて

今春の「新会員管理システム」の導入は、今後の東京校友会活動を直直していくための一項目に過ぎません。今後も各種課題に取り組みでまいります。これまでの活動にこだわらず、新しい時代に即した活動を展開すべく柔軟に対応していく所存ですので、ご支援をよろしくお願いたします。

文責／吉岡哲郎(76年・法)



制作中の新「東京校友会会員管理システム」の画面イメージ

東京校友会 関係諸団体の活動 2022年レポート

| 団体名 | イベント名、日時、会場、参加者数、講演者、講演テーマなど |
|---------------|---|
| 神奈川県支部 | 「同志社神奈川の集い2022」(総会・懇親会) 11月20日(日) 16時～18時 崎陽軒本店 47名参加 コロナ対策の為、講演会は実施せず 新規支部員・若手支部員拡大の為、下記の2イベントを開催 「ヨーロッパ企画横浜公演 観劇会」10月22日(土) 12時～16時 関内ホール 25名参加 「同志社ビジネス交流会 YOKOHAMA Night」2023年2月1日(水) 17時30分～22時 アットビジネスセンター横浜西口駅前 17名参加 |
| 千葉県支部 | 「総会・特別講演会」6月4日(土) 山崎製パン企業年金会館にて3年ぶりに開催。 植木学長による講演は大好評、また久方ぶりの懇親会は大盛況でした。 「音楽鑑賞会」、「美術鑑賞会」、「懇親ゴルフ会」はそれぞれ春、秋とも開催。 「千葉再発見の旅」も皆大満足。支部だよりは春、秋発行しました。 今年は支部創立25年の記念すべき年、フルスベックで活動予定。 |
| 埼玉県支部 | 感染症予防に十分配慮の上、以下の活動を行いました。 9月2年延期となっていた「マンドリンクラブ講演会」満席となる盛況でした。 11月3年ぶりに支部総会開催。植木学長を初めてお迎えし平安流行歌をお聞かせいただきました。 植木学長と当支部特別顧問の保阪正康氏の著書を参加者に抽選で贈呈しました。 |
| 群馬県支部 | 6月「初夏の集い」3月の予定を6月にシフトしたもののコロナ影響で中止 10月9日(日) 群馬県支部「総会・講演会・懇親会」は、植木学長の講演も予定して準備するも、案内を出す8月がコロナ拡大中のため総会を「活動報告」「会計報告」と「役員再選」の3議案を書面決議とし、承認(207通発信で否決無し) かつ、総会を忘年会と兼ねて12月にシフトして準備するも、やはりコロナ拡大で中止 新島研究会旅行はゆかりの地(松山・今治・しまなみ海道)へのリベンジを9月4～6日で実施 |
| 栃木県支部 | 「栃木県支部設立総会」6月12日(日) 12:00～15:30 ホテル東日本宇都宮 32名 同志社大学 植木朝子学長講演「同志社大学VISION2025と大学近況報告」 懇親会で参加者全員の自己紹介や今の同志社大学の映像上演などを実施 |
| 茨城県支部 | 10月23日(日)に水戸で「茨城県支部総会」の開催を予定しておりましたが、コロナの影響を考慮して中止とすることを決断しました。大変残念ですが3年連続の支部総会の中止となりました。そのため、会計報告については書面にて役員承認を得たのち、9月に茨城県内の校友に決算報告と募金の協力依頼を記載した書面を送付しました。 |
| 山梨県支部 | 夏の集いと3年ぶりに対面による「総会・講演会」を開催いたしました。 7月19日(火)「夏の集い」甲府城散策 12月4日(日)「総会」「講演会」をホテル談露館にて対面で開催。16名が参加。 講演「山梨県支部の設立とその後」(櫻井彪 前山梨県支部支部長) |
| 長野県支部 | 「同志社フェアin松本」7月9日(土)まつもと市民芸術館(主ホール) 376名 講演:植木朝子学長「同志社大学紹介」 奥野史子さん「夢を追いかけて」 演奏会:同志社グリークラブ 波田少年少女合唱団 各単独ステージとジョイントステージ フェア第2部の「卒業生交流レセプション」は茶話会形式とし、同館2Fオープンスペースにて70名参加のもと開催。 「長野県支部総会」は開催中止にて書面決議。 |
| 同窓会東京支部 | 5月18日(水) グランドハイアット東京で、3年ぶりに対面で「支部総会・懇親会」を開催 (飲食なし) 支部会員・来賓約50名が出席。懇親会では同窓生の垣岡敦子様のソプラノコンサートを楽しみました。 11月26日(土) 赤坂の霊南坂教会礼拝堂で、同じく3年ぶりとなる「讚美歌を楽しむ会」を開催。支部会員約90名が参加。 後宮主任牧師司式の礼拝に続き、三好同窓会会長の合唱指導で讚美歌やクリスマスキャロルを歌いました。 |
| 樹徳会東京支部 | 「総会・講演会・懇親会」10月22日(土) 学生会館にて開催 講演:百合野正博氏(同志社大学名誉教授) 演題:同志社創立150周年「いま改めて新島襄の炯眼を思う」懇親会:着席方式の会食にて80名の参加で三年ぶりの交流が復活。恒例の抽選会で大いに盛り上がりました。 |
| 同経会東京プロジェクト | 例年、日本プレスセンターで開催しております「東京のつどい」は、11月22日(火) 講師に元ラグビー日本代表 林敏之さんを迎え開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、参加者の皆様の健康・安全を第一に考慮した結果、2021年度に続き中止とさせていただきます。 |
| 政法会東京支部 | 9月「支部総会」開催中止 10月22日(土) 京都「支部長会議」(明徳館) 「法律相談」8月、10月 延期 賛助活動「歩こう会」9月～ 「新島研究会」11月～ 新たな取り組み「同志社東京アンサンブル演奏会」 参観 10月2日(日) 10:30～ 大田区民プラザホール 40数名 |
| 理工会東京支部 | 2022年度もコロナ禍のため全く活動ができていません。しかし、東京支部のメールアドレスを、やっと独立させることができました。今後は次のアドレスを用いて会員の皆様と情報発信のやり取りをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 drk-tokyo@doshisha-rikokai.jp |
| 関東同志社スポーツユニオン | 総会 10月23日(日) 学生会館 ビデオ講演 ワールドカップ展望 中西哲生氏 トークセッション 東京五輪フェンシングエベ団体金メダリスト 宇山賢氏 各部応援 ボート部(5月12日～15日)、陸上競技部(11月5日)、アイスホッケー部(12月20日、22日)、ラグビー部(12月25日)、女子ソフトボール部(2023年2月23日) |

連載
連企

片桐家同志社五代記

その四十四

文／片桐 陽(67年・工)

グリークラブに入ると必ず留年する、と脅かされ同志社学生聖歌隊(Doshisha Student Choir以下DSC)に入部したことは前にも記したが、DSCは同志社大学のみならず、女子大学からも入部できた。

一年生では、とにかく授業についていくだけで大変だったこともあり、DSCの練習にも余り出席しなかったように思う。

一年生の春休み、自動車免許を取得するために自宅近くの宝ヶ池自動車学校に通ったのだが、そこで一人の可愛い女性と知り合った。何度か学校で会ったおり色々話をしている中で、家博士の繋がりがあることが分かった。実は小学校の頃、我が家で



彼女と彼女の家の車で琵琶湖大橋へ!

絵の教室をやっていたが、同じ先生の教室を彼女の家でもやっていたことがあり、家族の交流があったのだ。彼女は私より一年歳下で、同志社女子高校から女子大学に進学することになっていたの、大学に入ったらDSCに來たらどうかと誘った。

さて一年生の授業は、電気関連の科目はもちろんだが、当初考えてもみなかった数学に苦しめられた。微分積分、級数以外に数学の科目が余りにも多く、想定外の苦勞を味わうことになる。

二年生になると少しは授業にも慣れて、クラブ活動に出る余裕も出てきた。でもやっぱり数学は基本ができていないこともあって、苦勞続きたった。

ただ、二年生になる楽しみは、新入生の後輩が入ってくることで、嬉しいことに自動車学校で誘った彼女が女子大学からDSCに入部してきてくれたのだ。

クラブに誘った手前、彼女には何かと気を配っただけでなく、デートも重ねていった。ちょうど親戚から下取りをしたオースティンが手に入ったこともあり、

この車で暇があると京都市内はもちろん、琵琶湖や奈良などを走ったものだ。その年の夏休み、DSCの清里への合宿にも一緒に参加した。このようにして、彼女との交際は深まるばかり。こうした付き合いをしながら、彼女とは次第にステイな関係になっていった。

一方勉学面は、心配していた数学を一年生ですべて落してしまい、それを取り戻すために、二年生で再度同じ教科を受けなければならなかった。しかし、同志社高校から上がって来たホザナコーラスの後輩や、京都大学に進学した後輩達に教えてもらうことで、落した数学は何とか取り戻すことができた。ただ、一年生でマスターすべき基礎を完璧に理解していなかったこともあり、結局二年生の数学も落としてしまい、また振り出しに戻されたような状況だった。

岩倉の後輩達は、三年生になったこんな私と次の年も一緒に勉強してくれただが、彼等がいなかったら恐らくこの窮地を乗り切れなかったことだろう。

今でも、試験に臨んでまったく答えられず、白紙答案を出す夢を見ることがたまにある。

今出川・京田辺四季



ジャーナリスト
宮本さおり(00年女子大卒)

現場に足を運ぶことの大切さを教えてくれた大学

私の学生時代の始まりは、それほど華々しいものではありませんでした。昭和10年生まれの父は、私が大学に進むことを快く思わず、愛知からの引越しも一人で行ないました。城陽市の量販店でパイペッドを注文し、一人で組み立てた時のしんどさ。経済的にバックアップしてくれなかった祖母の助けがなければ入学できていませんでした。

私は古典文学や歌舞伎に興味があり、出雲の阿国が歌舞伎踊りを舞った地の京都で学ぶことを夢見ていました。しかし、京都の大学に入りたいと父に話すと「女は短大で十分だ」と言われてしまい、仕方なく、父に秘密で受験をすることにしました。

苦しい引越してから始まった大学生活でしたが、入学後とても楽しい日々でした。近世の先生の薦めでまずは上代を中心に授業を取ることになりました。学業以外ではEVE祭の実行委員としても活動し、充実した日々でした。

ある日のこと、学んでいる和歌が詠まれた吉野まで行ってみようという話を持ち上がり、寺川眞知夫教授が車を出してくださいました。美しい吉野の渓谷は、思い描いていた川とは全く違う景色でした。何事も現場を見なければ掴めない、記者として大事にしていることの原点は、この時に教えられた気がします。



女子大EVE祭実行委員では企画部長に。吉本&ピア大学学園祭企画大賞で最優秀賞を受賞。特典は中川家。(最前列右端が筆者)

連載 ⑬

登録団体活動レポート
政法会 東京支部

支部長
山澤祥吾(61年・法)

「無料相談会」が好評

同志社大学政法会東京支部(以後、東京支部と略します)は、「支部結成の推進と地域活動の活性化」を目的に、政法会の支部第1号として、1998年に発足しました。

同志社大学政法会について

母体である「同志社大学政法会」は、同志社大学の法学部の前身である同志社政法学校に因んで名付けられ、1994年に



2016年定時総会 結城支部長(当時)の挨拶

発足。以来、四半世紀余りの歳月を経て、会員数5万6千人、地域支部8支部からなる大規模な組織へと成長しました。当会は、建学の精神のもと、会員相互の親睦及び研鑽並びに関係諸団体との交流を図るとともに、同志社大学法学部、大学院法学研究科及び同志社大学の充実発展に貢献することを目的としています。

東京支部の活動

東京支部の会員は、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県に住所または職場を有する法学部の卒業生をもって構成され、ホームページによれば現在の会員数は1000名を超え、全国の支部の中では最大規模の大きさを誇っています。

東京支部では、各著名人による講演会、親睦会、その他社会的に意義のある活動という3点を中心に活動をしています。

| 団体概要 | |
|---------|--------------------------------------|
| 【団体名】 | 同志社大学 政法会 東京支部 |
| 【設立年月日】 | 1998年6月9日 |
| 【代表者】 | 支部長 山澤祥吾(1961年・法) |
| 【会員数】 | 1,100名 |
| 【連絡先】 | doi@doi-lawoffice.com (事務局長 土居範行) |

<無料>

「法律・税務・登記」相談。お気軽に!

京都の名門、同志社大学出身の弁護士、税理士、司法書士等による市民のための無料相談会を、今年も、下記のように開催いたします。秘密は厳守されますので、どなたでも、どうぞご遠慮なく、お気軽に相談にお出かけください。

<主催 同志社大学政法会東京支部>

当会は、同志社大学法学部内に本部事務局を置く非営利の任意団体です。また、東京支部は、東京、神奈川、埼玉、千葉に在住する同志社大学法学部出身者で構成されています。このたび、市民社会に対するボランティア活動の一環として、今年も、ここ横浜市西区桜木町で、専門家と無料で相談ができる多角的・総合的な相談会を企画いたしました。ご来場をお待ちしております。



記

日時: 平成30年6月23日(土) 13時~17時

場所: 横浜市市民活動支援センター・4階(下記案内図)
横浜市西区桜木町1-1-56みなとみらい21クリーンセンター
電話: 045-223-2666

担当者: 弁護士 中小路大 (なかこうじまさる)
弁護士 土居範行 (どいのりゆき)
公認会計士 大橋史博 (おおたき ふみひろ)
司法書士 吉岡秋市郎 (よしおか しゅういちろう)

照会先: 〒240-0821 横浜市中区末広町2-5 大信ビル3階
吉岡秋市郎司法書士・行政書士事務所 (s.yoshioka@sac.auone-net.jp)
電話: 045-232-9373 FAX: 045-232-9374

<アクセス>



* ご来場者の便宜のために、**送迎バス**までの予約をさせていただきますので、照会先にご連絡の上、6月18日(月)までに予約をお取りください。
なお、緊急の場合は、直接会場にお出かけの上、受付を済ませて順番をお待ちください。
* 予約を済ませられた方は、裏面の「振込受付表」を郵送、FAXまたはメールで、照会先宛にお送りください。

や「歩こう会」に参加したり、同志社東京アンサンブル定期演奏会を参観したりするなど、会員同士の交流も積極的に図っています。

中でも、市民社会に対するボランティア活動の一環として定期的に開催している、「法律・税務・登記」の無料相談会はメディアに取り上げられるなど好評を博しています(左のチラシ参照)。

また、有志にて「新島研究会」



浜矩子教授の講演会(2016年定時総会)

コロナ禍により、2021年度および2022年度は活動を断念せざるを得ませんでした。2023年以降は従来の活動を随時復活させていく予定です。

東京支部の財政については、郵送費が中心であり、他の費用を捻出するのは原則厳しい状況です。

今後の活動方針としては、校友、同窓の価値観の多様性を実感することをモットーに、春の集いや校友会などの活動に会員が積極的に参加するよう促していくことを目標としています。

「法律・税務・登記」無料相談会のチラシ(2018年)

同志社スポーツアトム編集部 / 発

同志社スポーツ

フィギュアスケート部 森口澄士 インカレで準優勝

森口澄士(商4)が全日本インカレで実力を発揮し、完璧な演技を披露。昨年の8位入賞から躍進し準優勝を果たした。



演技前、氷上で観客に笑顔を見せる森口



力強いステップを披露する森口

直後のトリプルアクセルでは得意とする片手を上げながらのタノジャンプで観客を沸かせた。また、基礎点が1.1倍になる演技後半にはトリプルサルコウ・ダブルアクセル、ダブルアクセルの3連続ジャンプに加え、トリプルルッツ・トリプルトループの連続ジャンプも成功。抜群の安定感を誇

実力を見せる

1月5・6日に苫小牧市で開催された第95回日本学生氷上競技大会フィギュア競技(以下、全日本インカレ)。同志社からは7人の選手が出場したが、その中でも大きな注目を集めたのは森口澄士(商4)だ。

昨年末に行われた第91回全日本フィギュア選手権大会ではシングル・ペアの二刀流で出場。ペアでは出場1組ではあったが優勝、シングルでは7位入賞を果たし、全日本インカレでの躍進が大いに期待された。新たに二刀流に取り組んだ中での全日本インカレ出場。「全日本でもできたから、インカレでもできると思い練習に取り組んできた」

と全日本選手権での結果を自信と力に変え、実力を発揮すべく試合へ臨んだ。

期待に応えた

全日本インカレはフリーのみで争う大会だ。森口の今シーズンのフリープログラムはミュージカル曲「ジキルとハイド」。冒頭の荘厳な鐘の音と語り、ピアノの音色が印象的な曲だ。全日本選手権で165.32点をマークしたこのプログラムを引っ提げ、滑走順29番で氷上へ登場した。

演技冒頭の見せ場はトリプルアクセル・ダブルトループのコンビネーションジャンプ。迫力あるジャンプの高さを保ちながら完璧に着氷すると大きな加点を獲得し、勢いに乗る。また



表情豊かに曲を表現する森口

るジャンプを7本揃えた。

さらに、体全体を大きく使ったフライングキヤメルスピン、足換えシットスピんでレベル4の評価を獲得。多くの技をこなしながら、感情豊かな表現を忘れることなく、渾身(こんしん)の演技を見せた4分間だった。得点は全日本選手権より約3点低い162.87点となったが、全31選手の滑走後、準優勝が確

定した。

成長を続ける

連戦の疲れでコンディションは万全とは言えない状態だった。しかし「うまくできる自信はあった」と落ち着いていた表情で演技を振り返った。今後もさらなる成長を続け、国内にとどまらず世界の氷上でも力強く舞い続ける。

藤本知優(社会学部3年)

乞うご期待！ポストコロナの新展開

「2023同志社東京 初夏の集い」最新情報



時代の変化に合わせてテーマも若干リニューアル。「再び集え!! 混迷の「新時代」と同志社精神」今こそ見つめたいPurposeのチカラ」に決定しました。

いよいよ、4年ぶりの開催まで2か月を切り、準備も佳境を迎えています。

コロナも感染症分類が変わることになり、本格的にウィズコロナ時代に突入。

また、ウクライナ戦争の終結が見通せず、時代が大きな音を立てて動いている感じが実感される昨今、4年ぶりに開催される「2023初夏の集い」の



真山 仁さん

テーマも「新時代」にフォーカスしたものに変更しました。

すでにご案内のとおり、今年の「初夏の集い」は、植木学長による「同志社大学ビジョン2025・ダイバーシティ・キャンパスの推進に向けて」をテーマとした講演をお願いしております。

同志社が目指す多様性あふれ、持続可能な大学を目指した各種取り組みについてお話しいただきます。

また、例年の講演会に替わり、同志社出身の論客として高名で、最近も精力的に新著を出版されている作家・真山仁さん(87年・法)とTVのコメンテーター



瀬尾 傑さん

としても活躍されているスローニュース(株)代表取締役の瀬尾傑さん(88年・商)の特別対談を、朝日新聞記者 藤えりかさん(93年・法)の司会で行ってまいります。

メディア最前線でご活躍のお二人から、予測が極めて難しくなった今の時代を見通すための新たな視点が提供されるかもしれません。ワクワクしますね。

他にも、この「初夏の集い」では新たな試みにチャレンジしています。

大きなチャレンジは、WEBを活用したリモート版「初夏の集い」の同時開催です。

実際の会場にお越しいただけない校友の皆様にも、当日のイベントをライブでご視聴いただくことを準備しています。

また、会場の皆様の会食中は、リモート参加の皆様には、大学公認サークル「同志社学生テレビ局(DSTV)」制作の動画「今出川・京田辺の今」を配信いたします。懐かしの今出川・京田辺キャンパスは、今、どうなっている

同志社東京校友会 2023 同志社東京 初夏の集い

2023年6月4日(日) **再び集え!!**

予測不能な時代と同志社精神

～今こそ見つめたいPurposeのチカラ～

字長講演 同志社大学長 植木朝子氏
「同志社大学ビジョン2025 -ダイバーシティ・キャンパスの推進に向けて-」

学長講演 同志社大学長 植木朝子氏
「同志社大学ビジョン2025 -ダイバーシティ・キャンパスの推進に向けて-」

論客対談 「予測困難な時代の生き方、働き方」

6月4日(日)12時開催!! 詳細は裏面をご覧ください

「2023 同志社東京 初夏の集い」案内チラシ

のかな?

今どきの学生さんのキャンパスライフを覗いて見ようという企画になっています。

すでにほとんどの撮影は終了し、編集に入っていますが、楽しんでいただけるものに仕上がっていると思います。

他にも、「初夏の集い」にあわせて「ガイドブック」も制作していますが、その一部でもリモート版にできないか検討しています。

ご期待ください!!
 また、当日会場でのイベントにも、新しい試みを考えています。以前の「集い」では、開会前

に別室で「名刺交換会」を開催していましたが、今回は懇親会

場の一面に自由に入入りできるスペースを設けて、ガラス片手に幅広い校友の皆様との名刺交換や懇談を楽しんでいただける場とすることにいたしました。

着席の懇親会ですと、ややもすると席を立つのが億劫になるものですが、活発に交流できる会にしたいと考えております。

実行委員会一同、校友の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。
 2023同志社東京初夏の集い 実行委員長 青木重之(78年経)

2023年度定時総会・評議員会・幹事会のご案内

2019年以来4年ぶりに対面(WEB併用)にて、定時総会・評議員会・幹事会を左記のとおり開催いたします。

日程 5月25日(木)17:30～

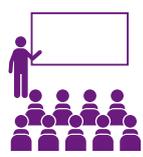
会場 同志社大学東京サテライト・キャンパスセミナールーム
議題(審議事項・報告事項)

- ①会則一部改正の件(予定)
- ②評議員・役員改選の件
- ③2022年度事業及び会計報告
- ④2023年度事業及び予算・収支計画

⑤その他
*お問い合わせ先(事務局)
電話 03-5579-9728
FAX 03-5579-9729

*なお、場所・開催方法・一部議題を変更する場合はHPで告知いたします。

*コロナの状況によっては、会場収容人数の変更も考えられるため、WEBでの参加をお願いする場合がございます。
文責/青木重之(78年・経)



大募集! <校友・私の一句>

★募集要項・ハガキ&FAXで
大ブームの俳句ですが、日本人なら誰でもできる五七五の季節の詩。「あなたの一句」を大募集します。随時投句可で無料。一回二句まで。掲載時添削あり。ハガキは〒104



選者/谷村鯛夢
俳人協会・現代俳句協会会員「炎環」同人会会長「定年時代」俳壇選者(72年・文)



選者の著書/俳句ちよつといひ話(紅書房)胸に突き刺さる恋の句-女性俳人百年の愛とその奇跡(論争社)

10061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F
同志社東京校友会「俳壇」係、FAXは03-5579-9729「俳壇」係へ。

編集後記

■お詫びと訂正
「同志社東京ジャーナル130号」の7頁において、「リユニオン&ホームカミングデー」の次年度開催予定日に誤りがありました。

新型コロナウイルスの発生から3年余りが経過しましたが、政府は、新型コロナウイルスの感染法上の分類をGW明けの5月8日から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることを決めました。
これにより、感染者や濃厚接触者の外出制限がなくなり、マスクの着用も3月13日以降は原則として「個人の判断にゆだねられる」ことになりました。

まだまだコロナ禍が終息したとは言えませんが、少しずつウイズコロナ(WITHコロナ)からアフターコロナの生活へと変わっていくものと思われま

す。東京校友会ではコロナ禍により、ほとんどのイベントが開催中止になり、それに伴って会員数が減少傾向にありましたが、イベントの再開により反転上昇が期待されます。

(誤)11月13日(日)
(正)11月12日(日)
誠に申し訳ありませんでした。
お詫びして訂正いたします。
編集人 新田博伸

次号からは、新戦力となっている編集委員の方々のお力を借りて、対面での取材が必要なために休載していた「校友訪問」や「校友の店」などの連載を徐々に復活させたいと思っています。どうぞご期待ください。

また、今号から本誌の奥付に、東京校友会ホームページのQRコードを掲載しました。スマホのカメラで読み取ることで、簡単にホームページをご覧いただくことができます。
文責/新田博伸(77年・法)

DOSHISHA TOKYO JOURNAL
2023.April. No.131 同志社東京校友会
〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC 銀座ビル3F
電話:03-5579-9728
FAX:03-5579-9729
発行人/横山 徹
編集人/新田博伸
印刷/株式会社スバルグラフィック
<https://www.doshisha-tokyo-alumni.jp>
mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875



人は寝ているあいだも、**空気**を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に心地よい空気とは何かを考え続けています。
空気で答えを出す会社、ダイキン。